

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:6月27日(水)

会場:三良坂コミュニティセンター

参加者数:68人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>先日、他市の友人と会った際、5月にあったJアラートのテストの話をしたが、あまり関心をもっておらず、三次市は進んでいるのかなと感じた。しかし、昨日(6月26日)の震度4の地震の際に、地震の後、テレビのテロップで地震情報が出て、音声告知放送が流れたが、その後も携帯は鳴らなかった。なぜ鳴らなかったのか。</p>	<p>気象庁が地震を事前にお知らせする「緊急地震速報」のエリアメールは、最大想定震度が5弱以上の地震に対応しているため、今回は鳴っていない。また、Jアラートについては、まず市へ情報が入ってJアラートが起動し、音声告知放送で地震があった旨をお知らせする、といった連携をとっている。</p>	<p>【回答補足】 ・エリアメールは、最大想定震度が5弱以上の場合に、気象庁が出すものである。 ・Jアラートが起動して音声告知放送が流れるのは、震度4以上の場合である。 (危機管理課)</p>
<p>災害時の放送について、音声告知放送の機械から、現在使用していない防災行政無線の屋外スピーカーに繋いで利用してはどうか。また、上下川の警報器スピーカーが連動させられるなら利用してはどうか。</p>	<p>・屋外スピーカーについては、暴風や豪雨の際に、聞こえないという事例が他市・他県で起こっている。こういったことも踏まえ、災害時の伝達方法については、音声告知・ケーブルテレビ・防災メール等色々な方法を組み合わせて伝達することを考えている。</p> <p>・防災行政無線の屋外スピーカーや国土交通省が管理している河川のスピーカーについては、利用できるかどうか、調査したい。</p>	<p>【回答】 防災行政無線については、6月28日に現地確認を行った。 河川のスピーカーについては、灰塚ダムの管理事務所へ確認したところ、利用は可能とのことであったが、利用の方法については、今後検討が必要である。(危機管理課)</p>
<p>ブッポウソウの保護について、川鶉の駆除や国土交通省のスピーカー調査によって、ブッポウソウが住みにくい環境になっている。駆除や調査は必要なので仕方がないが、時期・場所・方法について関係機関としっかり連携をとってほしい。</p>	<p>ブッポウソウは、大切に保護していかなければならない。ただ、川鶉の被害も甚大であるため、難しい問題もある。うまく調整をしながら進めていきたい。</p>	
<p>子どもの貧困問題について、朝食を食べずに学校に来る子どもについて把握しているかどうか聞きたい。</p>	<p>昨年度、健康づくり推進計画を策定した。その基礎データとして小中学校・保育所を対象に、朝食で3種類を食べれる状態かどうかのアンケートを実施した。結果は、幼児28.4%小学生47.2%中学生43.5%であった。今回の計画では、目標を設定しており、これを引き上げていく計画である。</p>	
<p>市立三次中央病院について、セカンドオピニオンが冷淡に扱われていると感じる。医師を対象としたセカンドオピニオンへの対応についての学習会は行っていないのか。</p>	<p>セカンドオピニオンは、患者さんの権利であると考えている。医師の対応については、具体的なことがあればお伺いし、対応していきたい。医療に係る研修等については、すべては把握していないが、それぞれの分野において行われている。</p>	

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:6月27日(水)

会場:三良坂コミュニティセンター

参加者数:68人

参加者の発言	市の発言	備考
資料を見ると、これから育つ子どもたちへの取り組みは多いが、高齢者・高齢の障害者・高齢の生活困窮者に対する具体的な取組が浅いと感じる。	昨年度、高齢者保健福祉計画及び障害者計画を策定し、今年度から新たな施策を展開している。今回の懇談会の資料に、すべては載せきれないため、ご了承いただきたい。 貧困に関しては、健康づくり推進計画をもとに、健康格差を無くしていくことをテーマとして取り組んでいる。各家庭の社会条件等によって、健康に関する情報を取り入れて自ら健康づくりに参画できるのか、それとも情報が乏しいために不健康な状態が続いてしまっているのか、そこに大きな課題があると考えている。今後市民の皆さんが健康であると感じられる割合を上げていきたい。	
日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)について、食堂の業者をプロポーザル方式で決定したとのことだが、どのような方法なのか。1社のみの応募だったと聞いたが、どういうことか説明してほしい。	今回は、公募型プロポーザルという方法で飲食業者を決定した。具体的には、より魅力ある施設にするために、市から一定の条件を提示し、公募のあった業者に飲食サービスの内容を提案してもらい、市で設置した審査委員会で審査して決定した。最終的に提案があった業者は1社であったが、審査委員会で様々な面を審査し、魅力あるサービスを提供してもらえると判断して決定した。	
日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)の職員体制の新聞記事を見たが、あいまいなままで進んではいけないか。人件費が膨大にかかるのではないか。市民への説明を丁寧にしてもらいたい。	現在、具体的な業務内容を検討しているところである。整理後、改めて公表する予定である。日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)の説明については、広報紙の「もののけだより」という記事で連載をしたりしているが、より市民の皆さんに知っていただけるよう取り組んでいきたいと考えている。	
安全・安心なまちづくりのために、土地区画整理地における信号や照明の設置等をこれからもよろしくお願ひしたい。また、使用できなくなっている土地についても、引き続きよろしくお願ひしたい。	昨年度でハード的な面は完成したが、今年度は、最終調整しなければならない細かい事業をしっかりと進めていきたい。防災についても県とも協議しながら、整備していきたいと思う。	
音声告知放送設備を全戸につけるべきである。また、外にいる人や登下校している子どもたちには聞こえない。どうすれば聞こえるようにできるかを考えてほしい。	市としては、全市に張り巡らせた光ファイバー網を利用した音声告知放送が情報伝達に効率的で効果的な方法として、優先的に活用したい考えである。また、携帯メール等も組み合わせた中で、可能な限り皆さんに情報発信をしていきたいと考えている。	
避難所の状況を1つひとつチェックして把握してほしい。	避難所はすべての災害に対しての避難所とするのは難しい面がある。各家庭に防災の手引きをお配りしているのでご利用いただきたい。行政だけでは対応しきれない面があり、全市にある自主防災組織、消防団、消防署との連携をとることで被害を防ぐことができると考えている。	

平成30年度地域づくり懇談会 主な意見

開催日:6月27日(水)

会場:三良坂コミュニティセンター

参加者数:68人

参加者の発言	市の発言	備考
地域づくり懇談会について、その場で回答できないのであれば、事前に質問を受け付けて回答を準備しておけばよいのではないか。	懇談会で回答できなかったご質問等については、後日住民自治組織にお返ししていきたいと考えている。事前に聞いてとなると皆さんの会場への足が遠のいてもいけない。ご意見に対して誠実にお答えしていく有意義な意見交換の場としたい。	
高齢者にとって、トイレが和式だと外出が遠のく原因の1つとなる。公共施設のトイレを洋式にすべきではないか。	公共施設の和式トイレについては、基本的には洋式に改善していつているので、水問題がどうなるかにもよるが、協議して改善していきたいと思う。	